

山梨県韮崎市

Noukenjou

No3point

# 能見城跡第3地点

携帯基地局建設に伴う発掘調査報告書

韮崎市遺跡調査会  
韮崎市教育委員会

山梨県韮崎市

Noukenjou No.3point  
能見城跡第3地点

携帯基地局建設に伴う発掘調査報告書

韮崎市遺跡調査会  
韮崎市教育委員会

## 序 文

韭崎市は武田発祥の地であり、武田氏ゆかりの史跡が数多く残っております。武田氏最後の城である新府城跡やその関連性のある武田八幡宮、白山城跡、能見城跡や願成寺があり、また、治水遺構として、御勤使川旧堤防跡（将棋頭）など、枚挙に暇のないほどであります。

その中で、新府城跡は武田氏最後の城として、また武田氏の築城技術の集大成の城郭としても有名であります。その新府城との関連性を指摘されている能見城跡は東西に土塁と堀を走らせ七里岩台地を遮断した城郭であり、新府城の北側の守りの要ともいえます。

今回は、携帯電話の基地局建設に伴う事前調査として、能見城跡の北側にあたる部分の調査を実施しました。

その結果、中・近世及び縄文時代の遺構・遺物を確認するに至り、記録保存を行いました。

このような調査の積み重ねにより、地域の過去が解き明かされていくとともに、発展的なまちづくりにも還元していくことと思います。

調査にあたり、ご理解をいただきました事業者の方をはじめ関係者の皆様方へ感謝申し上げます。

韭崎市遺跡調査会  
事務局長 輿水 豊

## 例　言

- 1 本書は蔚崎市穴山町に所在する能見城跡第3地点における携帯基地局建設に伴う緊急発掘調査報告書である。
- 2 発掘調査ならびに、整理作業は蔚崎市教育委員会監理のもと、蔚崎市遺跡調査会で実施した。
- 3 発掘調査ならびに、整理作業は蔚崎市遺跡調査会の間間俊明が担当した。本書の編集・執筆は間間がおこなった。
- 4 本書に関わる出土品・諸記録は蔚崎市教育委員会において保管されている。
- 5 組織（屋外調査時）

### 蔚崎市遺跡調査会

事務局長：與水豊　課長：雨宮正巳　課長補佐：武川容子・小林豊　リーダー：大石智久  
担当：山下孝司・間間俊明

## 目　次

### 序　文

### 例　言

### 目　次

第1章 調査経過.....	1
第2章 遺跡の環境.....	1
第3章 出土した遺構と遺物.....	1
第4章 まとめと課題.....	2

### 図　版

## 第1章 調査経過

周知の埋蔵文化財包蔵地である能見城跡で拂拭基地局の建設計画があり、文化財保護法第93条に関する届出があった。市教委では、埋蔵文化財包蔵地であるものの、遺存状況については未把握であることから、試掘調査が必要であることを意見として山梨県教育委員会に経由進達をおこなった。その後、山梨県教育委員会から試掘調査の指示が事業者にあり、韮崎市教育委員会では事業者と協議をおこない、試掘調査を実施した。その結果、遺構・遺物が検出された。

試掘調査の結果を受け、市教委と事業者で協議をおこない、現状で遺跡を保存することが困難であり、記録保存をすることになった。

## 第2章 遺跡の環境

能見城跡第3地点は韮崎市穴山町に位置する。本市の中央に向かって横のように八ヶ岳から伸びる七里岩台地にある。七里岩台地は本市と北杜市の境界周辺で急速にすさまるが、本遺跡はその位置にあたる。

調査地点の地形的状況は次のとおりである。標高約580mの能見城山の北側にあり、標高は約542mである。能見城山から半島状に北側に突出した曲輪の西側に位置し、調査地点の約75m西では、約4mの沢地形の窪地がある。その沢地形は一旦北側に向かい、西側に流れ込む。調査地点は、ほぼ平坦であり、県道を挟んで南側に展開する宿尻遺跡との関連性が強いことが現地に立つことで認識できる。

調査地点の周辺では、平成3年度に山梨県教育委員会が県道拡幅工事に伴い本調査地点の北側で宿尻遺跡を調査（『宿尻遺跡』1993山梨県教育委員会）、平成12年度に韮崎市教育委員会・韮崎市遺跡調査会がダイサービスセンター建設に伴い本調査地点の西側の地点で宿尻遺跡を調査（『宿尻遺跡』2002韮崎市教育委員会他）、平成20年度に韮崎市教育委員会が本調査地点の北側で宿尻遺跡第5地点として調査を実施している。また、能見城山の西斜面で鉄塔建設に伴い韮崎市教育委員会・韮崎市遺跡調査会が能見城跡の帯曲輪部分の一部を調査している（『能見城跡』1999韮崎市教育委員会・韮崎市遺跡調査会）。

## 第3章 出土した遺構と遺物

遺構の検出面は2面存在し、耕作土除去直下を確認面とし中・近世に相当すると考えられる面（以下「中・近世面」と呼ぶ）及びローム漸移層面を確認面とする縄文時代の面（以下「縄文面」と呼ぶ）である。

### 第1節 縄文面（第5図）

直径20cm程度のピットと直径40cm程度の土坑が複数検出され、縄文時代中期・後期の土器及び当該時期の石器等が検出された。

#### 第2号土坑（第7・9図）

直径約110cm、確認面からの深さ約50cmのほぼ円形の土坑である。土坑内の堆積土の中層以下では縄文時代後期（掘之内式）の上器片がやや多く含まれている。底面には大型破片と直径25cm程度の扁平碟が出土した。

#### 遺構外の出土の遺物（第8・10~15・17~19図）

##### ○土器・土製品

諸磯c式・藤内式・曾利I・II式・曾利V式・称名寺式・掘之内I式が出土した。掘之内I式が主体であった。この状況は、周辺で過去に調査を実施した宿尻遺跡（ダイサービスセンター地点・県道

括幅地点など）の状況と類似している。縄文時代中期・後期の集落が能見城山の北側裾部にまで展開していたことを示すものである。

土偶が2点出土している。いずれも縄文時代中期の立像土偶である。

#### ○石器・石製品

磨石、くぼみ石、石鋸、横刃形石器（スクレーパー）、打製石斧、磨製石斧、磨き石状小礫などが出土した。

磨き石状小礫は碁石ほどの大きさで丸みを帯びている。周辺でこのような小礫が発生する要因を考えにくことから、遺跡内に持ち込まれたものと考えられ、その大きさから土器作りにおける磨きの段階での使用を想定し、石器ととらえた（第17図7～10）。

#### 第2節 中・近世面（第4図）

10基のピットと1条の溝を検出した。遺構の堆積土に耕作土が含まれていない。第14図55・56に示した内耳上器が出上している。

### 第4章 まとめと課題

今回の調査では、大きく縄文時代と中・近世の2時期の遺構・遺物が確認された。

中・近世では能見城の上墨と堀で構成される防壁の外側（北側）に当該時期と考えられる遺構が展開することが把握できた。調査地の東側には虎口状の土塁施設が確認されている。このようなことから、虎口周辺に作られた建物などの痕跡の可能性も考えられる。調査範囲が限定的であることから、確認されたピットが建物跡となるかどうかの判断は控えたいが、今後周辺で調査をする機会があった場合には、建物跡の存在を視野に入れた調査が必要である。

縄文時代では、宿戸遺跡と能見城山の接点部分の調査であり、山際の縄文集落の様相を検討するための一資料を提供したことになる。今回の調査地点の北側では山梨県教育委員会の調査により竪穴跡が複数確認され、西側の谷への斜面部では、竪穴跡および斜面への廃棄場が並崎市教育委員会の調査で確認されている。本調査では、竪穴は確認されず、土坑ならびにピットのみであったことから、集落内において堅穴を建造する空間の外縁であり、山との境界部分が集落空間としての境目として認識されていた可能性が考えられる。

- ① 能見城跡第3地点
- ② 能見城跡
- ③ 次第庄遺跡
- ④ 次第庄第2遺跡
- ⑤ 宿尻遺跡
- ⑥ 堀尻遺跡（なごみの里）
- ⑦ 大学屋敷跡
- ⑧ 長坂氏屋敷跡
- ⑨ 石之坪遺跡（東地区）
- ⑩ 石之坪遺跡（西地区）
- ⑪ 伊熊塚第2遺跡
- ⑫ 中道遺跡
- ⑬ 清田遺跡
- ⑭ 村之内Ⅱ・Ⅲ遺跡
- ⑮ 尾敷塚遺跡
- ⑯ 駒削馬遺跡
- ⑰ 十二所遺跡
- ㉑ 清水塚遺跡
- ㉓ 平林・平林南遺跡
- ㉔ 高台中谷井遺跡

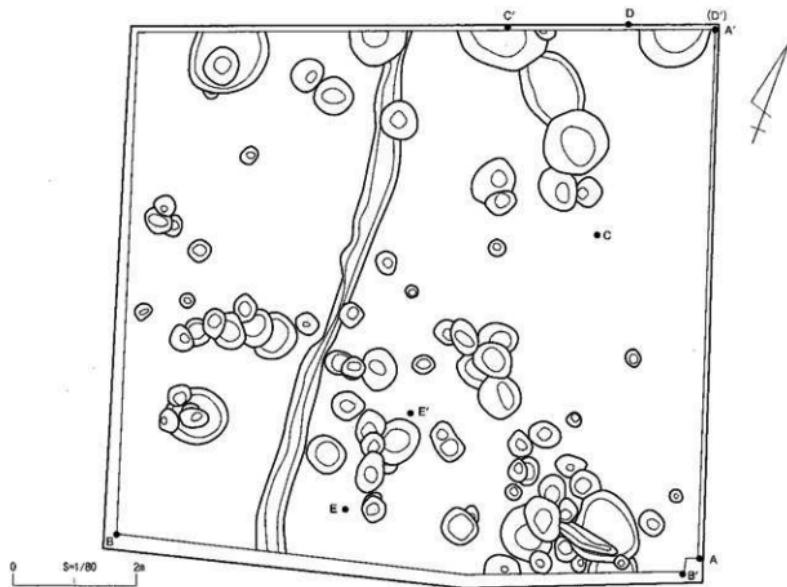


第1図 能見城跡 第3地点とその周辺遺跡 ( $S=1/50,000$ )

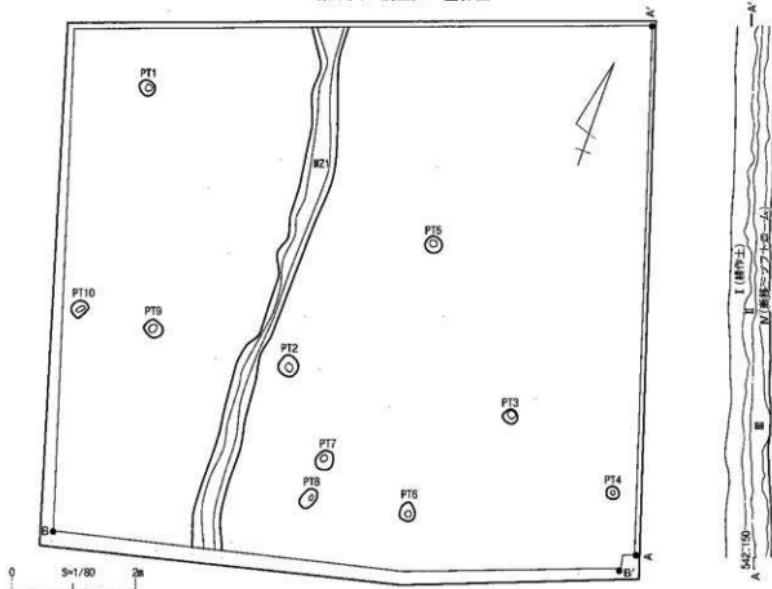


第2図 能見城跡 第3地点 位置図 ( $S=1/5,000$ )

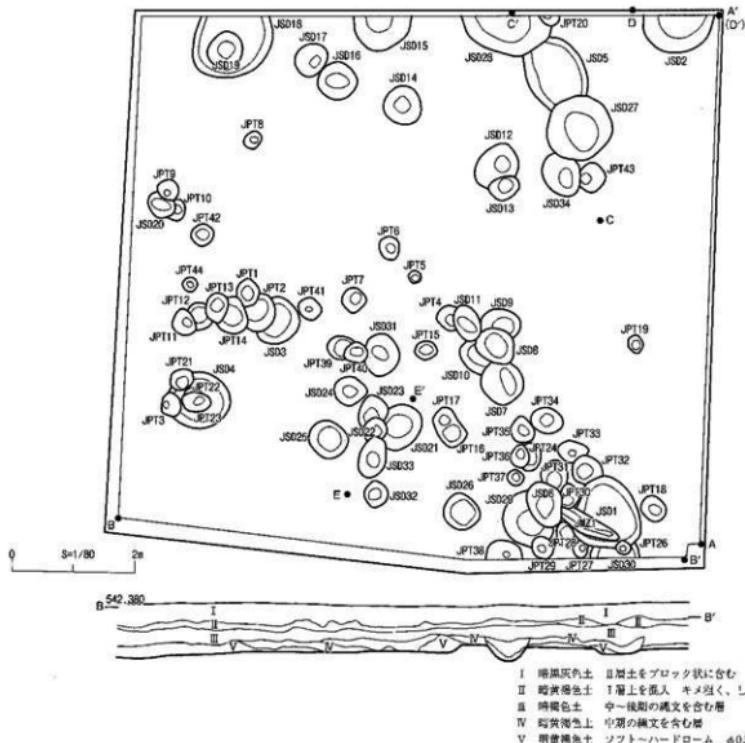
(平成9年修正地図使用)



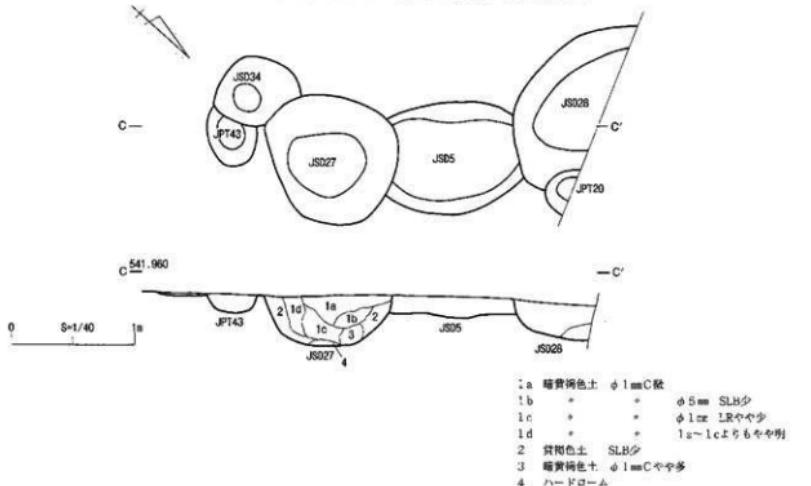
第3図 調査区 全体図



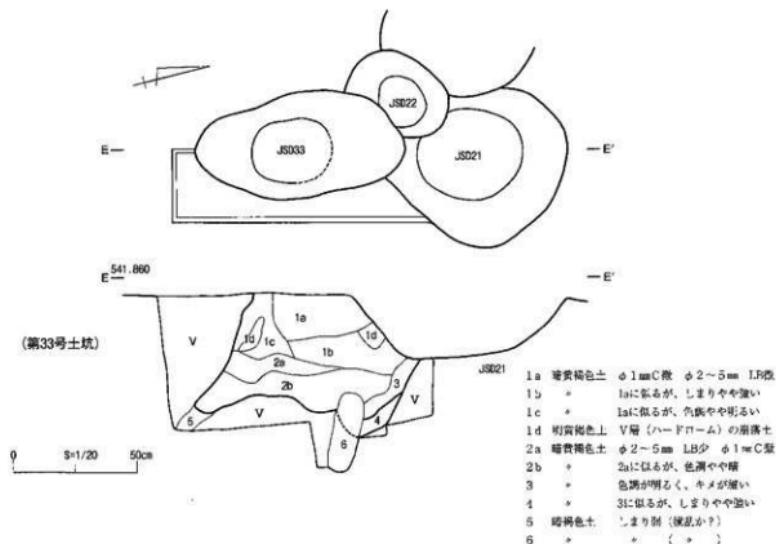
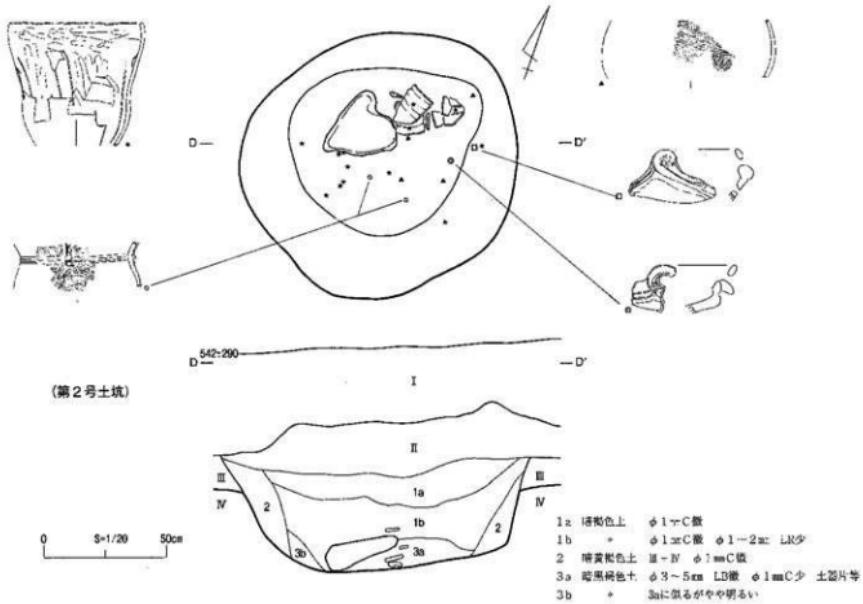
第4図 調査区 中・近世面全体図・東壁断面図



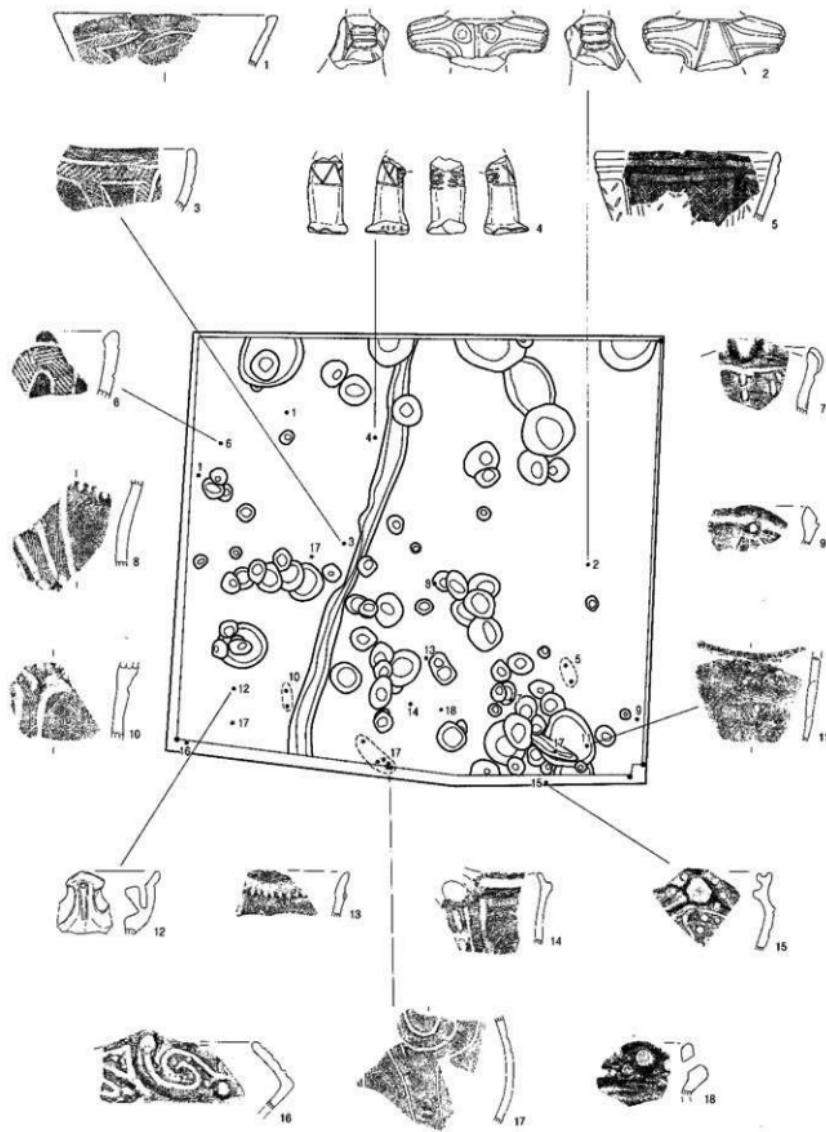
第5図 調査区 繰文面全体図・南壁断面図



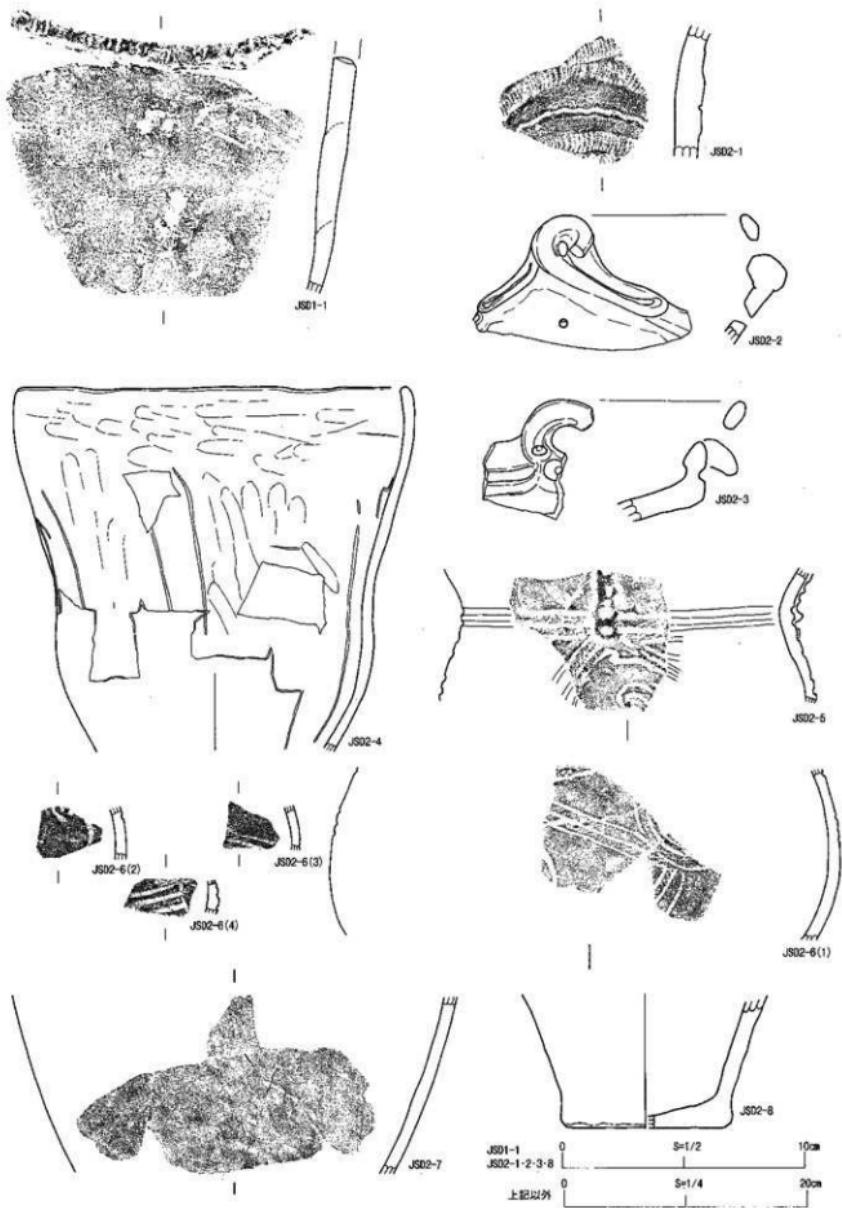
第6図 第27号土坑 平・断面図



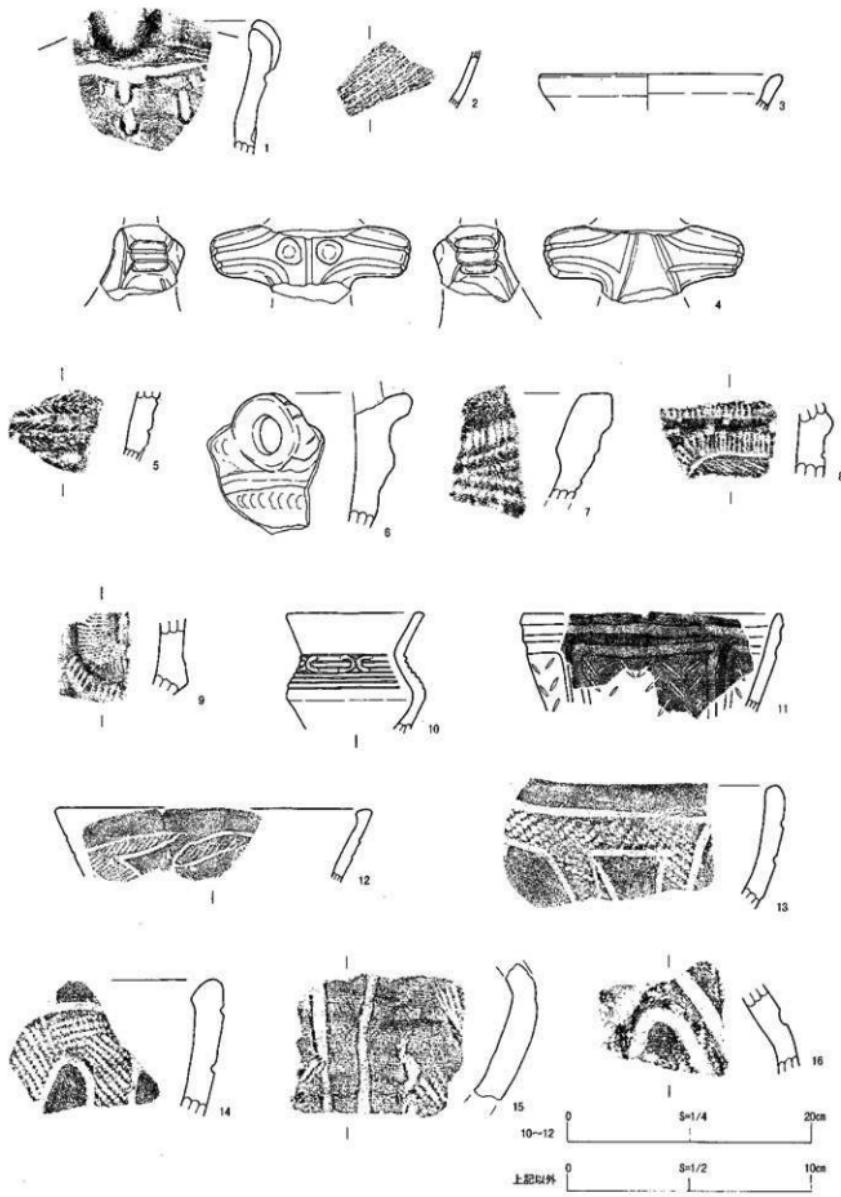
第7図 第2・33号土坑 平・断面図



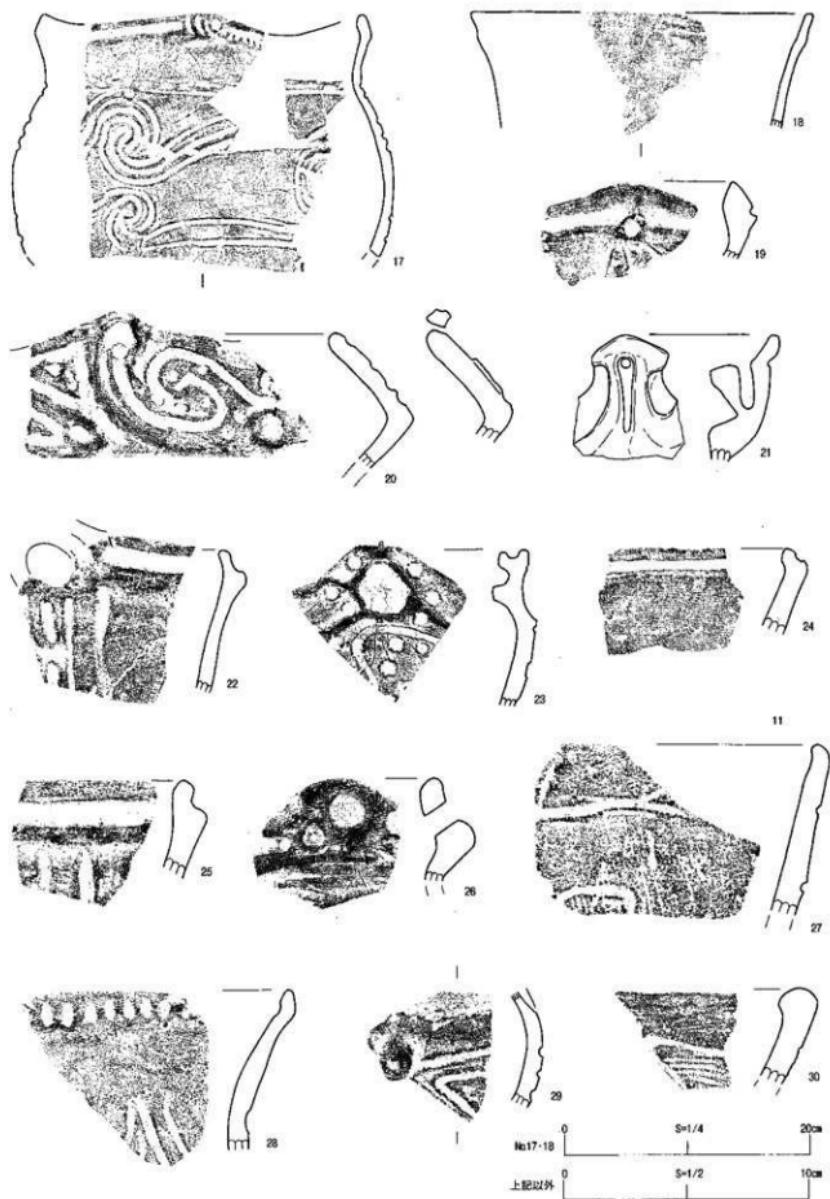
第8図 調査区 土器出土状況



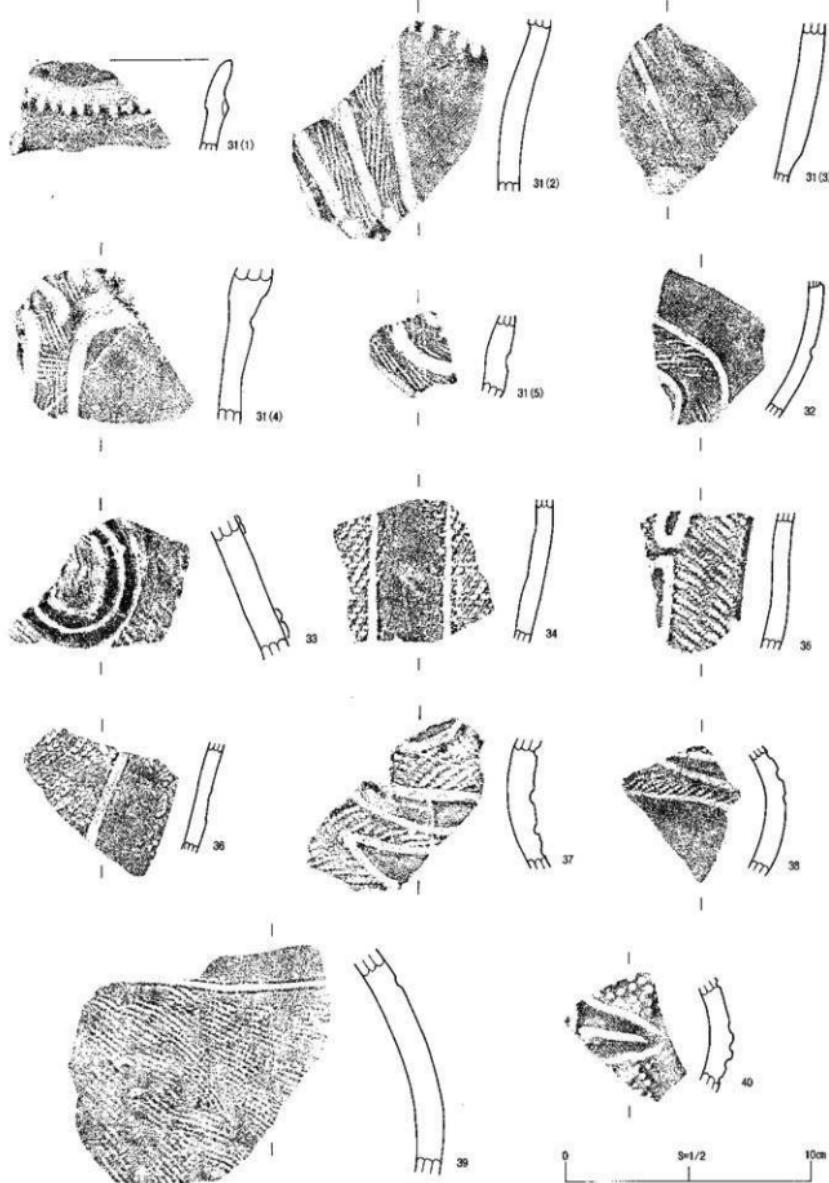
第9図 第1・2号土坑 出土土器



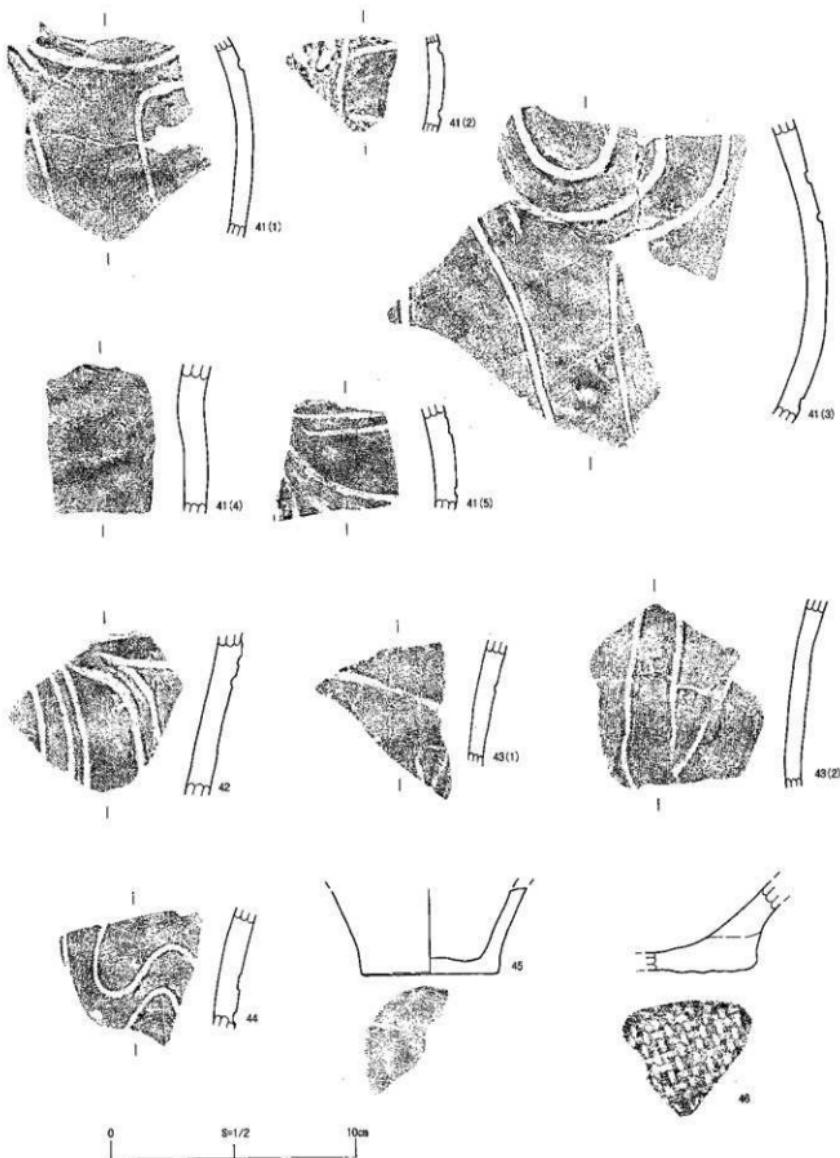
第10図 調査区 出土土器(1)



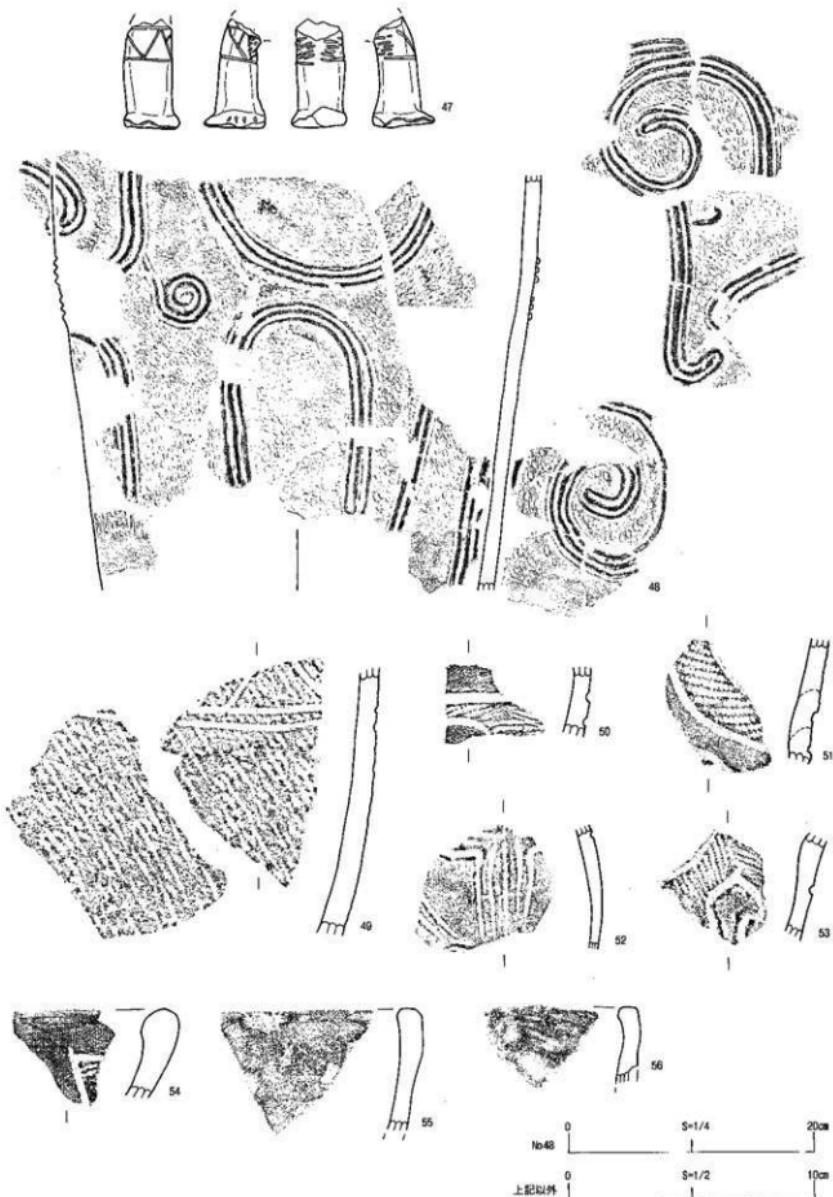
第11図 調査区 出土土器(2)



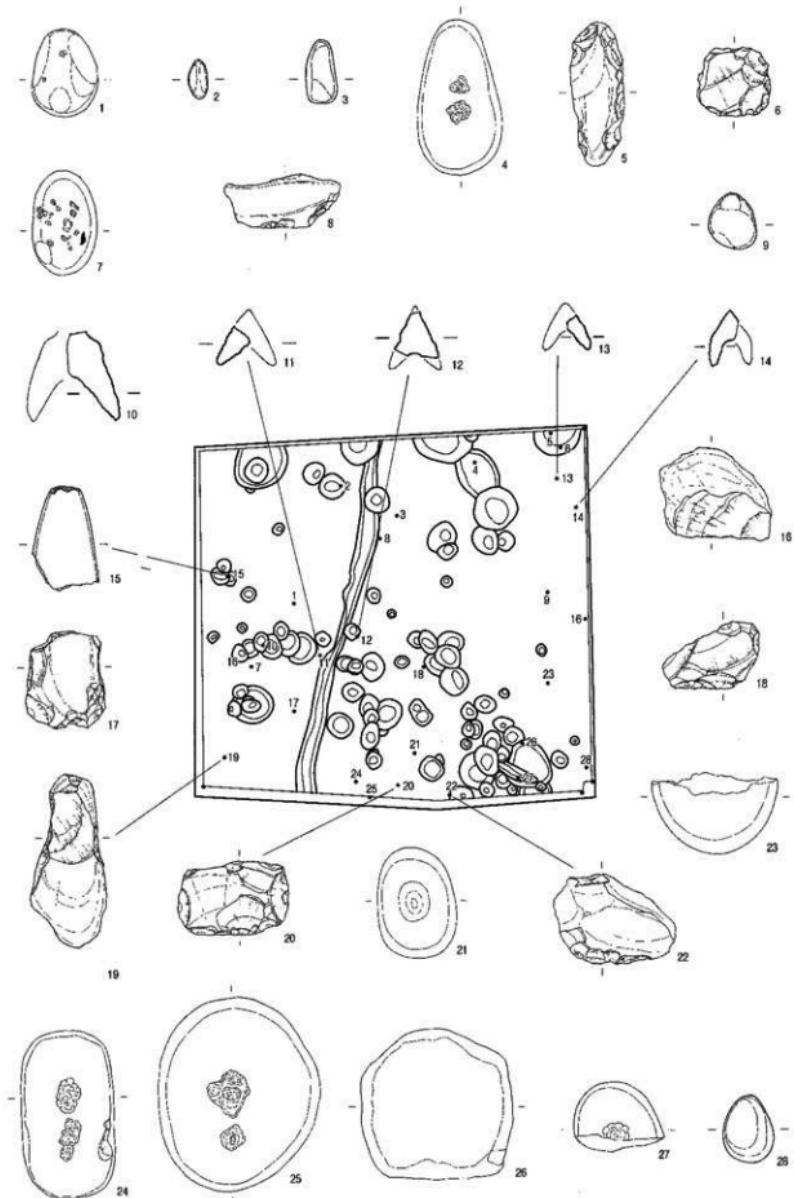
第12図 調査区 出出土器(3)



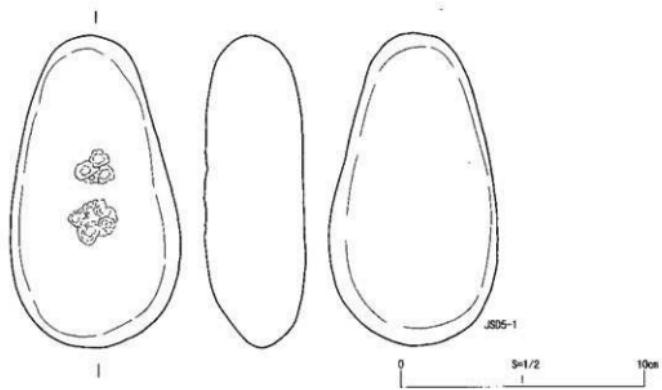
第13図 調査区 出土土器(4)



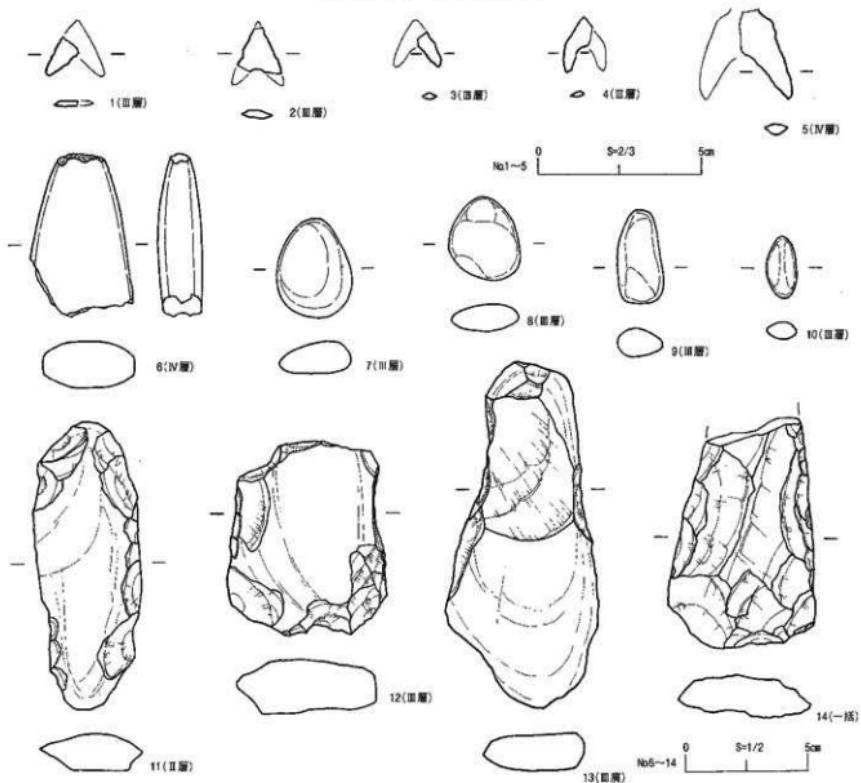
第14図 調査区 出土土器(5)



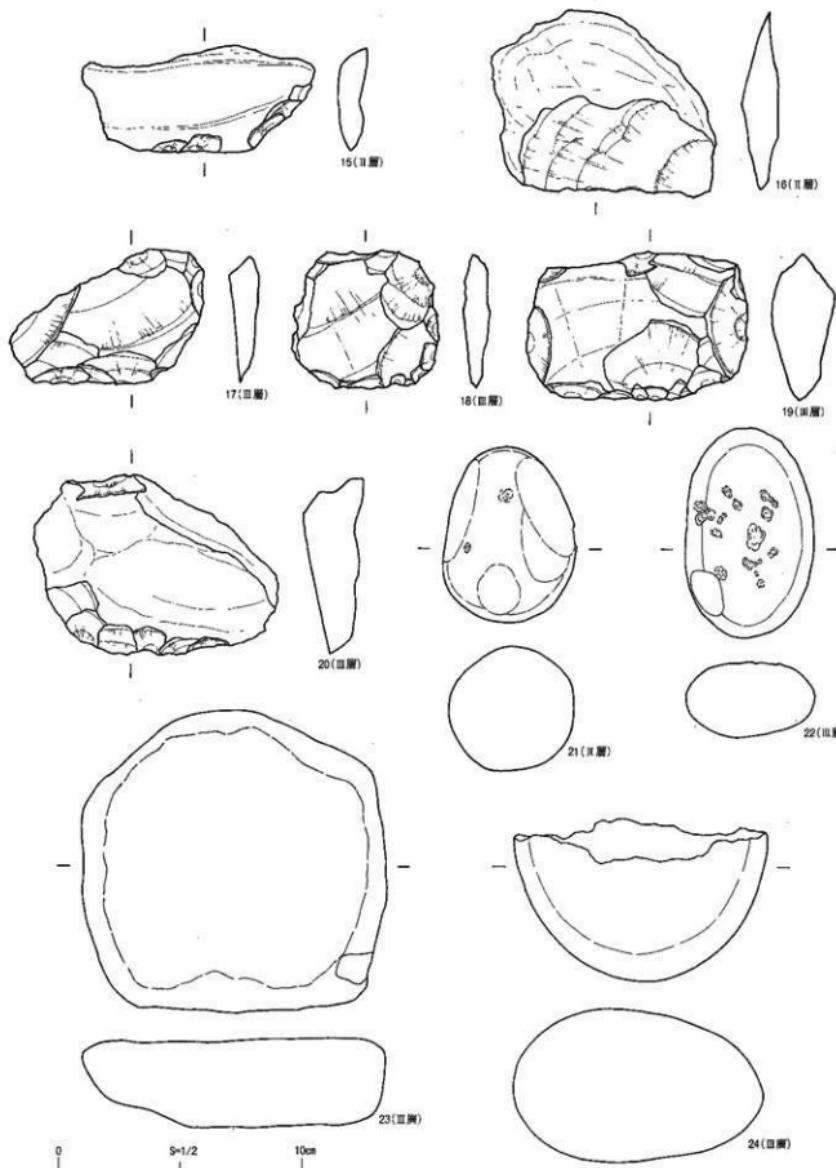
第15図 調査区 石器出土状況



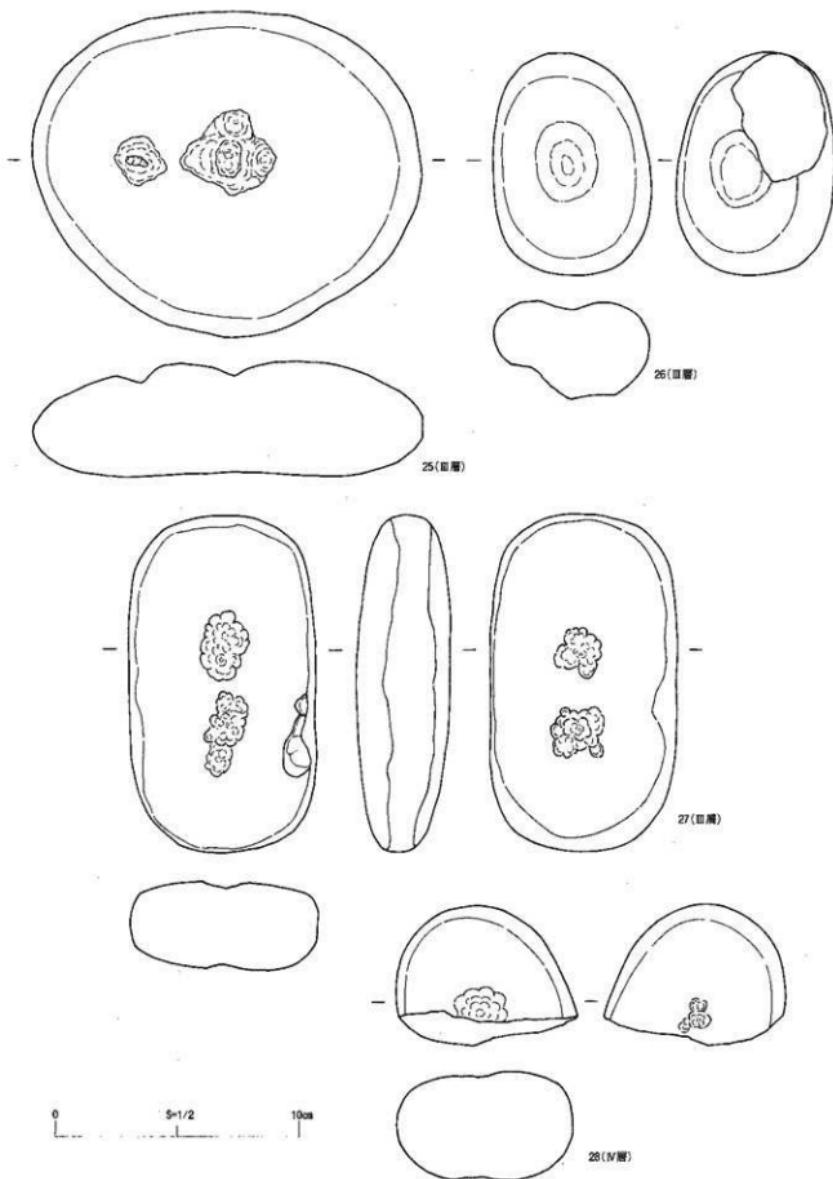
第16図 第5号土坑 出土石器



第17図 調査区 出土石器(1)



第18図 調査区 出土石器(2)



第19図 調査区 出土石器(3)

表1 ピット、土坑の確認面からの深さ

地盤名	深度 (m)						
JPT1	29.2	JPT24	11.0	JS03	10.3	JS026	26.5
JPT2	34.7	JPT25	-	JS04	25.6	JS027	40.1
JPT3	41.1	JPT26	8.2	JS05	12.8	JS028	31.6
JPT4	19.2	JPT27	12.3	JS06	47.6	JS029	24.5
JPT5	22.6	JPT28	21.0	JS07	30.3	JS030	16.3
JPT6	23.6	JPT29	39.0	JS08	30.0	JS031	25.5
JPT7	46.0	JPT30	18.0	JS09	28.4	JS032	10.7
JPT8	12.7	JPT31	17.1	JS010	20.9	JS033	48.0
JPT9	34.3	JPT32	14.3	JS011	25.2	JS034	24.9
JPT10	11.3	JPT33	22.0	JS012	27.5	JM21	4.4~5.0
JPT11	37.3	JPT34	14.2	JS013	26.4	PT1	5.0
JPT12	35.7	JPT35	13.3	JS014	29.7	PT2	28.5
JPT13	36.7	JPT36	39.1	JS015	18.2	PT3	24.4
JPT14	31.4	JPT37	11.4	JS016	35.7	PT4	15.2
JPT15	15.4	JPT38	24.2	JS017	35.7	PT5	6.6
JPT16	37.8	JPT39	20.3	JS018	12.8	PT6	13.4
JPT17	34.1	JPT40	23.6	JS019	19.2	PT7	25.3
JPT18	36.4	JPT41	55.3	JS020	37.1	PT8	12.0
JPT19	14.8	JPT42	18.7	JS021	26.3	PT9	11.8
JPT20	20.8	JPT43	19.5	JS022	40.6	PT10	16.5
JPT21	23.1	JPT44	14.3	JS023	32.1	MZ1	30.3~35.4
JPT22	18.7	JS01	24.4	JS024	16.1		
JPT23	42.0	JS02	35.1	JS025	7.8		

出土土器観察表①

回収地	出土名	遺物名	層位	時間	器種	色調(内)	色調(外)	形状	部位	重量(g)	備考	
第9回	JS02-1	JS02-1、CH-78	II	縄之内	深鉢	に赤い斑色	白色	白、黒光、金、赤	四脚片	240.2	内／無で、外／無で、縄	
第9回	JS02-1	JS02-11			深鉢	白	白	白、乳白、赤	四脚片	43.4	縄がわら部に刻み跡あり	
第9回	JS02-2	JS02-30			縄之内	深鉢	灰褐色	白、黒光、金	口縁部分	43.2	内／無で、外／縁部點	
第9回	JS02-3	JS02-16			縄之内	深鉢	白	白、赤	口縁部分	32.2	内／無で、外／口縁部に	
第9回	JS02-4	JS02-6・7・12・26/3			縄之内	深鉢	に赤い斑色	灰褐色～白	白、黑、黒光、金、赤	口縁部分(1/2周)～脚部	2100.0	外／不規則な模様、瓦り
第9回	JS02-5	JS02-4-8			縄之内	深鉢	白	白、乳白、赤	脚部	183.8	内／無で、外／赤土點	
第9回	JS02-6	JS02-10・15・34・41			縄之内	深鉢	赤褐色	白、乳白、黑	脚部	192.0	内／無で、外／赤土點	
第9回	JS02-7	JS02-9			縄之内	深鉢	赤褐色	白、乳白、金	脚部	357.7	内／無で、外／縁部	
第9回	JS02-8	JS02-15			縄之内	深鉢	粉色	に赤い斑色	白、黑、白、金、赤	脚部	69.0	内／無で、外／縁部
第10区	1	CH-1	III	縄之内	深鉢	に赤い斑色	白色	白、黒光、赤	口縁部分	35.5	内／無で、外／縁部點	
第10区	2	CH-16	I	古縄	豆	赤	白	白、黑、赤	脚部	4.8	外／脚部	
第10区	3	CH-15	II	中縄	环	白色	白色	黑、白色	口縁部分	2.2	内／無で、横縫で	
第10区	4	CH-129	II	初文	十脚	に赤い斑色	白色	白、黑、赤	脚部(底脚)	60.7	脚部に土色跡付け	
第10区	5	CH-1-1	II	縄縫	深鉢	白色	白色	白、黑、金	脚部	14.4	内／無で、外／こまかい	
第10区	6	CH-1-16	III	新縄	深鉢	白色	赤褐色	白、黑、黑光	脚部	47.1	内／無で、外／赤土點	
第10区	7	CH-16	II	縄之内	深鉢	白色	白色	黑、白、赤	脚部	27.8	内／無で、外／キャビテ	
第10区	8	CH-15	II	縄之内	深鉢	白色	に赤い斑色	白、黑光、赤、白	脚部	25.0	内／無で、外／キャビテ	
第10区	9	CH-15	III	縄之内	深鉢	に赤い斑色	に赤い斑色	白、黑光、赤	脚部	16.5	内／無で、外／キャビテ	
第10区	10	CH-15	II	新縫I	小豆	に赤い斑色	白色	白、黑、黒光、金、赤	口縁～底脚	176.8	内／無で	
第10区	11	CH-77-111	II	骨縫V	深鉢	赤褐色	白色	白、赤、黑光	口縁部分	186.9	内／無で、外／正筋、ハ	
第10区	12	CH-305-371	B	新名寺	深鉢	白色	白色	白、黑、赤	口縁部分	135.0	内／無で、外／縁文、正	
第10区	13	CH-889	D	新名寺	深鉢	灰褐色	灰褐色	白、金、黑	口縁部分	54.9	内／無で、外／縁文、正	
第10区	14	CH-99	E	新名寺	深鉢	浅褐色	新赤褐色	白、赤、金	口縁部分	41.1	内／無で、外／縁文、正	
第10区	15	CH-15	E	新名寺	深鉢	同心環状	新赤褐色	白、乳白、赤	脚部	50.5	内／無で、外／縁文、正	
第10区	16	CH-302	E	新名寺	深鉢	浅褐色	新赤褐色	白、乳白、黑、金	脚部	23.3	内／無で、外／縁文、正	
第11区	17	CH-15	H	縄之内	深鉢	に赤い斑色	に赤い斑色	白、黑、赤	口縁～底脚(1/4周)	414.6	内／無で、外／口縁～底	
第11区	18	CH-15	H	縄之内	深鉢	に赤い斑色	新赤褐色	白、黑光、赤	口縁部分	91.7	内／無で、外／正縫、縫	
第11区	19	CH-56	H	縄之内	深鉢	黒灰	黒灰	白、黑	口縁部分	19.2	内／無で、外／土色斑、	
第11区	20	CH-275	H	縄之内	深鉢	に赤い斑色	白色	白、乳白、金、黑	口縁部分	115.6	沈痕、縫文斑、	
第11区	21	CH-273	H	縄之内	深鉢	灰褐色	灰褐色	白、乳白、黑、黑光	口縁部分	42.5	内／乳白文、外／尖足部	
第11区	22	CH-194	H	縄之内	深鉢	に赤い斑色	に赤い斑色	白、黑、白、黑	口縁部分	38.4	内／無で、外／沈痕	
第11区	23	CH-335	H	縄之内	深鉢	赤褐色	赤褐色～に赤い	白、黑、赤	口縁部分	37.8	内／無で、外／刺突文	
第11区	24	CH-264	H	縄之内	深鉢	白色	白色	白、黑、赤	口縁部分	30.2	内／無で、外／沈痕	

出土土器観察表②

団組No.	報告地	遺物No.	層位	分類	器種	色調(内)	色調(外)	胎土	形状	重量(g)	参考
第11回	25	CH-176	II	堀之内	深鉢	褐色	に赤い紫色	白・乳白・金・黒	口縁部片	33.1	内/赤で、外/紺毛柄 心・芯灰
第11回	26	CH-45	II	堀之内	深鉢	褐色	に赤い紫色	白・赤・黒	口縁部片	33.1	内/赤で、外/紺毛文
第11回	27	CH-115	II	堀之内	深鉢	褐色	に赤い紫色	白・乳白・黒	口縁部片	77.6	内/赤で、外/紺毛目・ 心・芯灰
第11回	28	CH-338	III	堀之内	深鉢	褐色	に赤い紫色	白・乳白・赤・ 黒	口縁部片	56.5	内/赤で、外/芯灰・赤 目
第11回	29	CH-103	II	堀之内	深鉢	褐色	赤黄褐色	白・黒灰・赤	口縁部片	22.2	内/赤で、外/芯灰・新 上灰
第11回	30	CH-115	II	堀之内	深鉢	褐色	に赤い紫色	白・品・赤・ 黒	口縁部片	29.3	内/赤で、外/紺文・芯 灰
第12回	31	CII 8・9・17・ 50・145	II	堀之内	深鉢	褐色	に赤い紫色	白・乳白・金・ 黒灰・赤・品	口縁部片	211.8	穴・堀で、外/紺文・芯 灰・すり剥し・削肉面
第12回	32	CH-381	II	堀之内	深鉢	黒褐色	に赤い紫色	白・黒・白・ 赤	口縁部片	24.4	内/赤で、外/紺文・芯 灰・すり剥し
第12回	33	CII 193	III	堀之内	深鉢	褐色	に赤い紫色	白・乳白・ 黒	口縁部片	63.6	内/赤で、外/紺文・芯 灰・土被付
第12回	34	CII 475	II	堀之内	深鉢	緑褐色	明褐色	白・黒灰・金	口縁部片	41.8	内/赤で、外/紺文・芯 灰・すり剥し・芯灰
第12回	35	CH-133	II	堀之内	深鉢	褐色	に赤い紫色	白・乳白・ 黒	口縁部片	25.6	内/赤で、外/紺文・芯 灰
第12回	36	CH-300	II	堀之内	深鉢	褐色	褐色	白・黒灰・金・ 黒	口縁部片	29.1	内/赤で、外/紺文・芯 灰・すり剥し
第12回	37	CH-15	II	堀之内	深鉢	褐色	に赤い紫色	白・乳白・ 黒	口縁部片	77.9	内/赤で、外/芯灰・ 黒文
第12回	38	CH-491	II	堀之内	深鉢	黒褐色	黒褐色	白・黒灰・ 黒	口縁部片	19.4	内/赤で、外/紺文・芯 灰・すり剥し
第12回	39	CH-15	II	堀之内	深鉢	褐色	褐色	黑・白・赤	口縁部片	179.9	内/赤で、外/紺文・芯 灰・すり剥し
第12回	40	CII 302	II	堀之内	深鉢	褐色	に赤い紫色	白・品・赤・ 黒灰	口縁部片	21.7	内/赤で、外/紺文
第13回	41	CII-256・323・ 290・525号	II・ IV	堀之内	深鉢	褐色～明赤 色	芯灰褐色	白・赤・金・ 黒	口縁部片	319.8	内/赤で、外/芯灰
第13回	42	CH-36	II	堀之内	深鉢	褐色	褐色	白・乳白・ 黒	口縁部片	37.1	内/赤で、外/芯灰
第13回	43	CH-289・320	II	堀之内	深鉢	明褐色	に赤い紫色	白・黒・品・ 赤	口縁部片	85.2	内外/赤で、外/芯灰
第13回	44	CH-270	II	堀之内	深鉢	褐色	に赤い紫色	白・乳白・ 黒	口縁部片	41.3	内外/赤で、外/芯灰
第13回	45	CII-115	II	堀之内	深鉢	褐色	に赤い紫色	白・乳白・ 黒	口縁部片 (1/2周)	299.3	内/赤で、外/芯灰 代用
第13回	46	CH-36	II	堀之内	深鉢	褐色	に赤い紫色	白・乳白・ 黒	口縁部片 (1/4周)	92.1	内外/赤で、外/芯灰 代用
第14回	47	CH-655	II	堀之内半	土器	に赤い紫色	に赤い紫色	白・乳白・ 金・黒	口縁部片(右尾)	21.7	芯灰文
第14回	48	CH-115	II	堀之内	深鉢	に赤い紫色	褐色	白・黒灰・ 黒	口縁部片 (1/5周)	3650.0	内/赤で、外/半竹内度 による濃度・暗め文
第14回	49	CII-15	II	堀之内	深鉢	褐色	に赤い紫色	白・乳白・ 金・黒	口縁部片	132.8	内/赤で、外/無鉛文・ 芯灰
第14回	50	CII-15	II	新名寺	深鉢	に赤い紫色	青褐色	白・乳白・ 金・赤	口縁部片	11.9	内/赤で、外/紺文・芯 灰
第14回	51	CII-518	II	新名寺	深鉢	明赤褐色	暗褐色	赤・白・乳白・ 金	口縁部片	23.6	内/赤で、外/紺文・芯 灰・すり剥し
第14回	52	CH-596	II	堀之内	深鉢	褐色	褐色	白・黒灰・ 赤	口縁部片	20.3	内/赤で、外/芯灰
第14回	53	CII-15	II	新名寺	深鉢	に赤い紫色	に赤い紫色	白・黒・ 金	口縁部片	15.5	内/赤で、外/紺文・芯 灰
第14回	54	CH-15	II	新名寺	深鉢	褐色	褐色	白・乳白・ 金	口縁部片	23.4	内/赤で、外/紺文・芯 灰
第14回	55	CII-15	II	中村	内耳垂	に赤い紫色	褐色	赤・白・ 黒	口縁部片	29.5	内外/赤で
第14回	56	CH-15	II	中村	内耳垂	に赤い紫色	暗褐色	白・黑・ 乳白	口縁部片	12.0	内外/赤で

出土石器観察表

通称	青銅器	遺物名	地質	岩種	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)
第16回	JSD05-1			すり + 打石	砂岩	12.9	7.0	1.0	563.4
第17回	1	CH-54	II	石器	黒曜石	(1.2)	(1.2)	(0.2)	0.1
第17回	2	CH-53	III	石器	高嶺石	(1.4)	(1.4)	0.2	0.3
第17回	3	CH-71	III	石器	高嶺石	(1.1)	(0.7)	0.2	0.1
第17回	4	CH-70	III	石器	高嶺石	1.7	(1.0)	(0.2)	0.1
第17回	5	CH-37	IV	石器	高嶺石	(2.8)	(1.6)	(0.3)	1.0
第17回	6	CH-59	IV	磨片	砂岩	(6.7)	4.2	1.9	91.6
第17回	7	CH-65	II	磨き石	砂岩	4.0	3.0	1.3	21.2
第17回	8	CH-98	II	磨き石	砂岩	3.4	3.0	1.1	13.2
第17回	9	CH-310	III	磨き石	砂岩	3.9	1.8	1.1	13.4
第17回	10	CH-344	III	磨き石	砂岩	2.5	1.3	0.7	3.1
第17回	11	CH-14	II	打所	フィルンフェルス	11.8	4.4	1.5	99.0
第17回	12	CH-210	II	打所	フィルンフェルス	8.0	5.7	2.2	160.8
第17回	13	CH-529	II	打所	フィルンフェルス	14.3	6.3	1.6	163.4
第17回	14	CH-95	II	打所	フィルンフェルス	(9.5)	5.5	1.7	130.5
第18回	13	CH-6	II	櫛刃	フィルンフェルス	4.4	9.6	1.1	57.2
第18回	16	CH-60	C	櫛刃	砂岩	7.7	9.1	1.4	101.9
第18回	17	CH-156	III	櫛刃	砂岩	5.2	8.0	1.2	79.7
第18回	18	CH-166	III	櫛刃	砂岩	5.5	6.0	1.1	49.7
第18回	19	CH-212	III	櫛刃	砂岩	6.1	9.1	2.6	183.9
第18回	20	CH-213	III	櫛刃	フィルンフェルス	7.4	10.0	2.5	162.8
第18回	21	CH-460	II	すり石	安山岩	7.2	5.5	5.2	271.7
第18回	22	CH-459	II	すり石	安山岩	8.6	5.3	3.1	159.9
第18回	23	CH-132	II	すり石	安山岩	12.4	12.5	3.3	1,012.0
第18回	24	CH-59	E	すり石	安山岩	(6.5)	10.4	6.4	565.4
第19回	25	CH-261	E	刮石	安山岩	15.9	13.3	4.7	1,390.0
第19回	26	CH-293	E	刮石	安山岩	9.1	6.5	4.0	328.3
第19回	27	CH-276	E	刮石	安山岩	13.8	7.7	3.5	563.6
第19回	28	CH-543	IV	刮石	安山岩	(5.8)	7.3	4.4	235.5

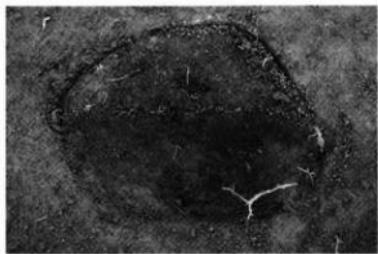
図版 1



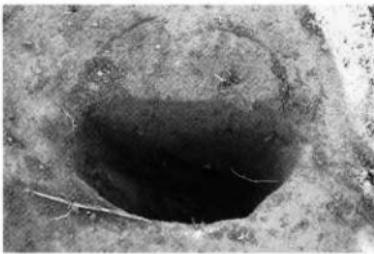
調査区全体図



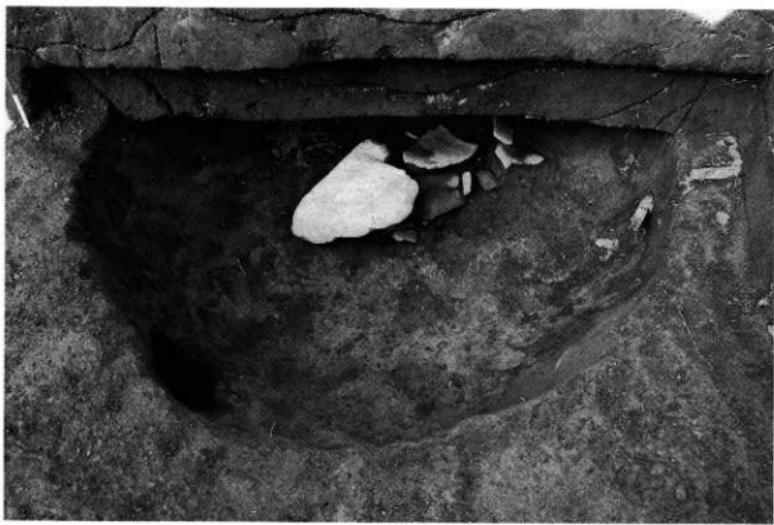
南壁断面図



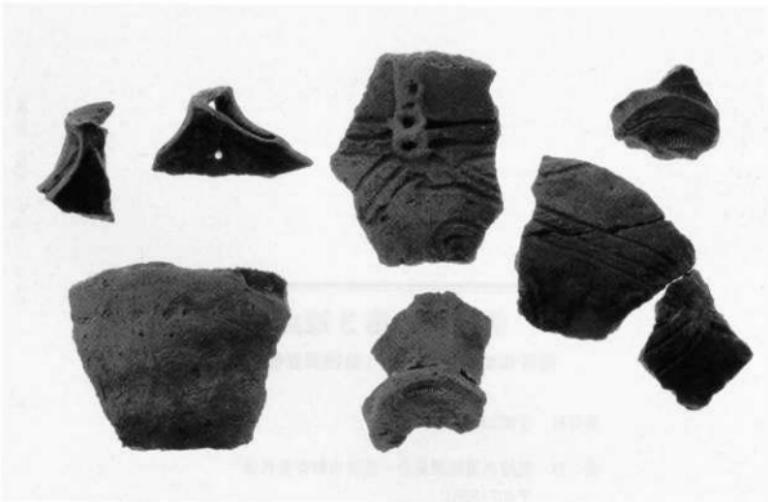
中・近世面ピット断面1



中・近世面ピット断面2



第2号土坑



第2号土坑出土遺物

## 報告書抄録

ふりがな	のうけんじょうあとだいさんちてん							
書名	能見城跡第3地点							
副書名	携帯基地局建設に伴う発掘調査報告書							
編著者名	間間後明							
編集機関	芷崎市遺跡調査会・芷崎市教育委員会							
住所	山梨県芷崎市水神1-3-1							
発行年月日	平成23年10月21日							
所取遺跡名	所在地	市町村コード	遺跡番号	北緯	東經	調査期間	調査面積	調査原因
三百水遺跡	山梨県芷崎市穴山町字能見城地内	19207	S-12	35°45'11"	138°25'04"	H19.12~H20.1	約90m <sup>2</sup>	鉄塔建設
所取遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
能見城跡	集落跡・城郭	绳文時代 中世以降	土坑 ピット	中期～後期の遺物				

## 能見城跡第3地点

携帯基地局建設に伴う発掘調査報告書

発行日 平成23年10月21日

発行 芷崎市遺跡調査会・芷崎市教育委員会  
 ☎ 407-8501  
 山梨県芷崎市水神1-3-1  
 TEL 0551-22-1111(代表)

印刷 ほおづき書籍株式会社  
 長野市柳原2133-5

